



# 目次

---

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
  - 2.1. 本書の目的
  - 2.2. 対象読者
  - 2.3. 本書の構成
- 3. IM-LogicDesigner intra-mart Accel Documents連携 について
  - 3.1. IM-LogicDesigner intra-mart Accel Documents連携 の概要
- 4. 連携タスク一覧
  - 4.1. 連携タスク
    - 4.1.1. 文書作成
      - 4.1.1.1. 入力値
      - 4.1.1.2. 出力値
    - 4.1.2. 保管文書作成
      - 4.1.2.1. 入力値
      - 4.1.2.2. 出力値
    - 4.1.3. チェックアウト
      - 4.1.3.1. 入力値
      - 4.1.3.2. 出力値
    - 4.1.4. チェックイン
      - 4.1.4.1. 入力値
      - 4.1.4.2. 出力値
    - 4.1.5. 文書検索
      - 4.1.5.1. 入力値
      - 4.1.5.2. 出力値
    - 4.1.6. 文書ダウンロード
      - 4.1.6.1. 入力値
      - 4.1.6.2. 出力値
    - 4.1.7. フォルダ/文書削除
      - 4.1.7.1. 入力値
      - 4.1.7.2. 出力値
    - 4.1.8. 文書公開
      - 4.1.8.1. 入力値
      - 4.1.8.2. 出力値
    - 4.1.9. 文書公開（ゲスト）
      - 4.1.9.1. 入力値
      - 4.1.9.2. 出力値
    - 4.1.10. 文書コピー
      - 4.1.10.1. 入力値
      - 4.1.10.2. 出力値
    - 4.1.11. 文書移動
      - 4.1.11.1. 入力値
      - 4.1.11.2. 出力値

- 4.1.12. フォルダ作成
  - 4.1.12.1. 入力値
  - 4.1.12.2. 出力値
- 4.1.13. アクセス権変更
  - 4.1.13.1. 入力値
  - 4.1.13.2. 出力値
- 4.1.14. 属性変更
  - 4.1.14.1. 入力値
  - 4.1.14.2. 出力値
- 4.1.15. 個人タグ作成
  - 4.1.15.1. 入力値
  - 4.1.15.2. 出力値
- 4.1.16. 共有タグ作成
  - 4.1.16.1. 入力値
  - 4.1.16.2. 出力値
- 4.1.17. タグ付与
  - 4.1.17.1. 入力値
  - 4.1.17.2. 出力値
- 4.1.18. 属性取得
  - 4.1.18.1. 入力値
  - 4.1.18.2. 出力値
- 4.1.19. ドロワ/フォルダの子要素取得
  - 4.1.19.1. 入力値
  - 4.1.19.2. 出力値
- 4.1.20. ごみ箱へ移動
  - 4.1.20.1. 入力値
  - 4.1.20.2. 出力値
- 4.1.21. ごみ箱から削除
  - 4.1.21.1. 入力値
  - 4.1.21.2. 出力値
- 4.2. ユーザ定義タスク
  - 4.2.1. Accel Documentユーザ定義属性変更
    - 4.2.1.1. ユーザ定義画面
      - 4.2.1.1.1. 入力値
      - 4.2.1.1.2. 返却値
      - 4.2.1.1.3. キャビネット
      - 4.2.1.1.4. クラス定義
    - 4.2.1.2. 動作仕様

変更年月日	変更内容
2017-12-01	初版
2018-04-01	第2版 下記を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none"><li>■ 「<a href="#">連携タスク</a>」 - 「<a href="#">文書作成</a>」の入力値、出力値の説明を修正、および fileName、filePathを使用したチェックインは非推奨であることについて警告を追加。</li><li>■ 「<a href="#">連携タスク</a>」 - 「<a href="#">保管文書作成</a>」の入力値、出力値の説明を修正、および fileName、filePathを使用したチェックインは非推奨であることについて警告を追加。</li><li>■ 「<a href="#">連携タスク</a>」 - 「<a href="#">チェックイン</a>」の入力値、出力値の説明を修正、および fileName、filePathを使用したチェックインは非推奨であることについて警告を追加。</li><li>■ 「<a href="#">連携タスク</a>」 - 「<a href="#">文書公開</a>」の出力値の説明を修正。</li><li>■ 「<a href="#">連携タスク</a>」 - 「<a href="#">文書公開 (ゲスト)</a>」の出力値の説明を修正。</li><li>■ 「<a href="#">連携タスク</a>」 - 「<a href="#">文書コピー</a>」の出力値の説明を修正。</li><li>■ 「<a href="#">連携タスク</a>」 - 「<a href="#">フォルダ作成</a>」の出力値の説明を修正。</li><li>■ 「<a href="#">連携タスク</a>」 - 「<a href="#">個人タグ作成</a>」の出力値の説明を修正。</li><li>■ 「<a href="#">連携タスク</a>」 - 「<a href="#">共有タグ作成</a>」の出力値の説明を修正。</li></ul>
2018-12-01	第3版 下記を追加しました。 <ul style="list-style-type: none"><li>■ 「<a href="#">ユーザ定義タスク</a>」にAccel Documentユーザ定義属性変更に関する説明を追加。</li></ul>

---

項目

- [本書の目的](#)
- [対象読者](#)
- [本書の構成](#)

---

## 本書の目的

本書では IM-LogicDesigner intra-mart Accel Documents連携 の機能概要と IM-LogicDesigner で使用可能な連携タスクについて説明します。

---

## 対象読者

本書では次の開発者を対象としています。

- IM-LogicDesigner から intra-mart Accel Documents を操作したい

なお、本書では次の内容を理解していることが必須です。

- intra-mart Accel Documents を理解している
- IM-LogicDesigner を理解している

---

## 本書の構成

本書の構成は以下の通りです。

- [IM-LogicDesigner intra-mart Accel Documents連携 について](#)

IM-LogicDesigner intra-mart Accel Documents連携 の概要について説明します。

- [連携タスク一覧](#)

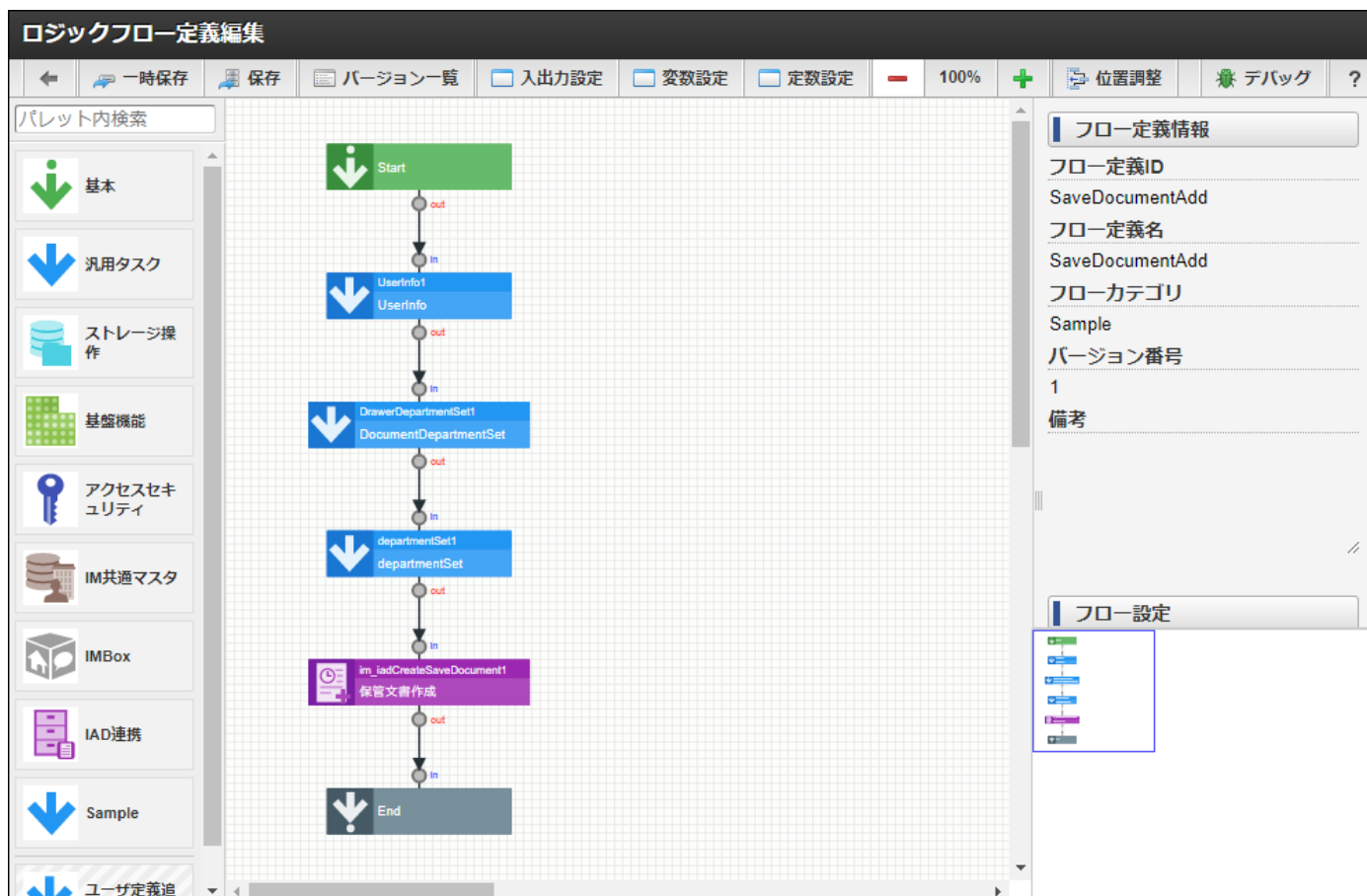
IM-LogicDesigner で使用可能な連携タスクを説明します。

## IM-LogicDesigner intra-mart Accel Documents連携 の概要

「IM-LogicDesigner intra-mart Accel Documents連携」は、intra-mart Accel Documents への文書の作成、管理などを IM-LogicDesigner を利用して行うことができる機能です。

この機能は、IM-LogicDesigner のロジックフロー定義に intra-mart Accel Documents の各機能を連携タスクとして配置することで実行することができます。

利用可能な連携タスクについての一覧は「[連携タスク一覧](#)」 - 「[連携タスク](#)」を参照してください。



## 連携タスク

### 文書作成

文書作成をするタスクです。



#### 注意

intra-mart Accel Platform 2018 Spring(Skylark) からfileName、filePathを使用した文書作成は廃止されました。

後方互換性のため、システムプロパティに

「jp.co.fujixerox.kiun.foundation.logic.element.acceldocuments.acceptFileType=file」を指定することで使用可能です。

システムプロパティを指定した場合、source は任意項目です。

### 入力値

```
im_iadCreateDocument <object>
├ cabinetId <integer> *
├ classId <string>
├ departmentSetInfo <object[]>
│ ├── companyCd <string>
│ ├── departmentCd <string>
│ ├── departmentSetCd <string>
│ └ permission <string>
├ fileName <string>
├ filePath <string>
├ parentObjectId <string> *
├ source <storage> *
└ userInfo <object[]>
  ├── permission <string>
  └ userCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iadCreateDocument	任意	object	なし	
cabinetId	必須	integer	なし	キャビネットのIDを指定します。
classId	任意	string	なし	クラスのIDを指定します。 例 : kn:document
departmentSetInfo	任意	object[]	配列	組織セット情報を指定します。 この要素を指定する場合、配下にある要素は必須です。
companyCd	任意	string	なし	会社コードを指定します。
departmentCd	任意	string	なし	組織コードを指定します。

項目名	必須/任意		配列/リスト	説明
	意	型	ト	
permission	任意	string	なし	アクセス権を指定します。 読み取り専用を指定する場合、 read を指定します。 書き込み専用を指定する場合、 write を指定します。 読み取りと書き込みを指定する場合、 all を指定します。
fileName	任意	string	なし	アップロードファイルの名前を指定します。 このプロパティは 2018 Spring(Skylark) から廃止されました。
filePath	任意	string	なし	アップロードファイルのディレクトリパスを指定します。 このプロパティは 2018 Spring(Skylark) から廃止されました。
parentObjectId	必須	string	なし	文書作成先のドローまたはフォルダのIDを指定します。 例 : kn:publicDrawer-XX、 kn:folder-XX
source	必須	storage	なし	アップロードファイルのパブリックストレージまたはセッションスコープストレージを指定します。
userInfo	任意	object[]	配列	ユーザ情報を指定します。 この要素を指定する場合、配下にある要素は必須です。
permission	任意	string	なし	アクセス権を指定します。 読み取り専用を指定する場合、 read を指定します。 書き込み専用を指定する場合、 write を指定します。 読み取りと書き込みを指定する場合、 all を指定します。
userCd	任意	string	なし	ユーザコードを指定します。

### コラム

classIdの入力値に指定がない場合、アクセス権の指定がされません。  
そのため、permissionの入力値を指定する場合、classIdは必須です。

### 出力値

```
im_iadCreateDocument <object>
└─ documentId <string>
```



項目名	型	配列/リスト	説明
im_iadCreateDocument	object	なし	
documentId	string	なし	作成した文書のIDです。

## 保管文書作成

保管文書作成をするタスクです。



### 注意

intra-mart Accel Platform 2018 Spring(Skylark) からfileName、filePathを使用した保管文書作成は廃止されました。

後方互換性のため、システムプロパティに

「jp.co.fujixerox.kiun.foundation.logic.element.acceldocuments.acceptFileType=file」を指定することで使用可能です。

システムプロパティを指定した場合、source は任意項目です。

## 入力値

```
im_iadCreateSaveDocument <object>
├ cabinetId <integer> *
├ classId <string> *
├ departmentSetInfo <object[]>
│ ├── companyCd <string>
│ ├── departmentCd <string>
│ ├── departmentSetCd <string>
│ └ permission <string>
├ expireDate <date> *
├ fileName <string>
├ filePath <string>
├ isCertTarget <boolean>
├ ownerCds <string[]>
├ ownerDepartmentSetInfo <object[]>
│ ├── companyCd <string>
│ ├── departmentCd <string>
│ └ departmentSetCd <string>
├ parentObjectId <string> *
├ source <storage> *
└ userInfo <object[]>
  ├── permission <string>
  └ userCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iadCreateSaveDocument	任意	object	なし	
cabinetId	必須	integer	なし	キャビネットのIDを指定します。

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
classId	必須	string	なし	クラスのIDを指定します。 例 : kn:document
departmentSetInfo	任意	object[]	配列	組織セット情報を指定します。 この要素を指定する場合、配下にある要素は必須です。
companyCd	任意	string	なし	会社コードを指定します。
departmentCd	任意	string	なし	組織コードを指定します。
permission	任意	string	なし	アクセス権を指定します。 読み取り専用を指定する場合、 read を指定します。 書き込み専用を指定する場合、 write を指定します。 読み取りと書き込みを指定する場合、 all を指定します。
expireDate	必須	date	なし	保管期限を指定します。
fileName	任意	string	なし	アップロードファイルの名前を指定します。 このプロパティは 2018 Spring(Skylark) から廃止されました。
filePath	任意	string	なし	アップロードファイルのディレクトリパスを指定します。 このプロパティは 2018 Spring(Skylark) から廃止されました。
isCertTarget	任意	boolean	なし	タイムスタンプ付きの文書にする場合 true を指定します。 入力値を指定しない場合、 false が指定されます。
ownerCds	任意	string[]	配列	保管責任者を指定します。
ownerDepartmentSetInfo	任意	object[]	配列	保管責任組織セット情報を指定します。 この要素を指定する場合、配下にある要素は必須です。
companyCd	任意	string	なし	会社コードを指定します。
departmentCd	任意	string	なし	組織コードを指定します。
departmentSetCd	任意	string	なし	組織セットコードを指定します。

項目名	必須/任意		配列/リスト	説明
	意	型		
parentObjectId	必須	string	なし	文書作成先のドロワまたはフォルダのIDを指定します。 例 : kn:publicDrawer-XX、 kn:folder-XX
source	必須	storage	なし	アップロードファイルのパブリックストレージまたはセッションスコープストレージを指定します。
userInfo	任意	object[]	配列	ユーザ情報を指定します。 この要素を指定する場合、配下にある要素は必須です。
permission	任意	string	なし	アクセス権を指定します。 読み取り専用を指定する場合、 read を指定します。 書き込み専用を指定する場合、 write を指定します。 読み取りと書き込みを指定する場合、 all を指定します。
userId	任意	string	なし	ユーザコードを指定します。



### コラム

保管文書作成タスクでは、保管責任者コード、保管責任者組織のいずれかまたは両方を指定する必要があります。

## 出力値

```
im_iadCreateSaveDocument <object>
└─ documentId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	
		ト	説明
im_iadCreateSaveDocument	object	なし	
documentId	string	なし	作成した保管文書のIDです。

## チェックアウト

チェックアウトをするタスクです。

## 入力値

```
im_iadCheckOut <object>
├─ cabinetId <integer> *
└─ documentId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iadCheckOut	任意	object	なし	
cabinetId	必須	integer	なし	キャビネットのIDを指定します。
documentId	必須	string	なし	チェックアウトをする文書のIDを指定します。 例 : kn:document-XX

## 出力値

```
im_iadCheckOut <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iadCheckOut	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

## チェックイン

チェックインをするタスクです。



### 注意

intra-mart Accel Platform 2018 Spring(Skylark) からfileName、filePathを使用したチェックインは廃止されました。

後方互換性のため、システムプロパティに

「jp.co.fujixerox.kiun.foundation.logic.element.acceldocuments.acceptFileType=file」を指定することで使用可能です。

システムプロパティを指定した場合、source は任意項目です。

## 入力値

```
im_iadCheckIn <object>
├ cabinetId <integer> *
├ documentId <string> *
├ fileName <string>
├ filePath <string>
└ source <storage> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iadCheckIn	任意	object	なし	
cabinetId	必須	integer	なし	キャビネットのIDを指定します。
documentId	必須	string	なし	チェックインをする文書のIDを指定します。 例 : kn:document-XX

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
fileName	任意	string	なし	チェックインをするファイルの名前を指定します。 このプロパティは 2018 Spring(Skylark) から廃止されました。
filePath	任意	string	なし	チェックインをするファイルのディレクトリパスを指定します。 このプロパティは 2018 Spring(Skylark) から廃止されました。
source	必須	storage	なし	アップロードファイルのパブリックストレージまたはセッションスコープストレージを指定します。

## 出力値

```
im_iadCheckIn <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iadCheckIn	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

## 文書検索

文書検索をするタスクです。

## 入力値

```
im_iadSearchDocument <object>
├ cabinetId <integer> *
├ desc <boolean>
├ lastModified <date>
└ searchDocumentName <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iadSearchDocument	任意	object	なし	
cabinetId	必須	integer	なし	キャビネットのIDを指定します。
desc	任意	boolean	なし	検索結果の昇順、降順を指定します。 降順を指定する場合、 true を指定します。 入力値を指定しない場合、昇順が指定されます。
lastModified	任意	date	なし	最終更新日時を指定します。

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
searchDocumentName	必須	string	なし	検索する文書名を指定します。



### コラム

文書検索は部分一致で行われます。

## 出力値

```
im_iadSearchDocument <object>
├─ searchDocuments <object[]>
│   ├── displayVersionNo <string>
│   ├── documentId <string>
│   ├── documentName <string>
│   └─ versionId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iadSearchDocument	object	なし	
searchDocuments	object[]	配列	
displayVersionNo	string	なし	intra-mart Accel Documents の画面に表示されているバージョンの値です。
documentId	string	なし	検索結果の文書IDです。
documentName	string	なし	検索結果の文書の名前です。
versionId	string	なし	intra-mart Accel Documents の内部で保持しているバージョンIDです。

## 文書ダウンロード

文書ダウンロードをするタスクです。

## 入力値

```
im_iadDownloadDocument <object>
├─ cabinetId <integer> *
├─ displayVersionNo <string>
├─ documentId <string> *
├─ target <storage> *
└─ versionId <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iadDownloadDocument	任意	object	なし	

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
cabinetId	必須	integer	なし	キャビネットのIDを指定します。
displayVersionNo	任意	string	なし	intra-mart Accel Documents の画面 上に表示されているバージョンの値を 指定します。
documentId	必須	string	なし	ダウンロードする文書のIDを指定しま す。 例 : kn:document-XX
target	必須	storage	なし	ダウンロード先のストレージを指定し ます。
versionId	任意	string	なし	intra-mart Accel Documents の内部 プログラムで保持しているバージョン IDを指定します。



### コラム

versionIdを指定しない場合、最新のバージョンを取得します。

## 出力値

```
im_iadDownloadDocument <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iadDownloadDocument	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

## フォルダ/文書削除

フォルダ/文書削除をするタスクです。

## 入力値

```
im_iadDeleteDocument <object>
├ cabinetId <integer> *
├ objectId <string> *
└ versionId <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iadDeleteDocument	任意	object	なし	
cabinetId	必須	integer	なし	キャビネットのIDを指定します。

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	
			ト	説明
objectId	必須	string	なし	削除するフォルダまたは文書のIDを指定します。 例 : kn:folder-XX、kn:document-XX
versionId	任意	string	なし	削除するフォルダまたは文書のバージョンIDを指定します。



### 注意

versionIdを指定しない場合、対象のフォルダまたは文書の全てのバージョンが削除されます。  
特定のバージョンのみを削除したい場合、versionIdを指定します。

## 出力値

```
im_iadDeleteDocument <any>
```

項目名	型	配列/リスト	
		ト	説明
im_iadDeleteDocument	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

## 文書公開

文書公開をするタスクです。

## 入力値

```
im_iadPublishDocument <object>
├ cabinetId <integer> *
├ departmentSetInfo <object[]>
│ └ companyCd <string>
│   └ departmentCd <string>
│     └ departmentSetCd <string>
├ documentId <string> *
├ expireDate <date> *
├ publishName <string>
├ startDate <date>
├ userCd <string[]>
└ versionId <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	
			ト	説明
im_iadPublishDocument	任意	object	なし	
cabinetId	必須	integer	なし	キャビネットのIDを指定します。



項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
departmentSetInfo	任意	object[]	配列	組織セット情報を指定します。 この要素を指定する場合、配下にある要素は必須です。
companyCd	任意	string	なし	会社コードを指定します。
departmentCd	任意	string	なし	組織コードを指定します。
departmentSetCd	任意	string	なし	組織セットコードを指定します。
documentId	必須	string	なし	公開する文書のIDを指定します。 例 : kn:document-XX
expireDate	必須	date	なし	公開する文書の公開期限を指定します。
publishName	任意	string	なし	公開する文書の公開名を指定します。
startDate	任意	date	なし	公開日時を指定します。
userCd	任意	string[]	配列	公開対象のユーザコードを指定します。
versionId	任意	string	なし	公開する文書のバージョンIDを指定します。



#### コラム

versionIdを指定しない場合、最新のバージョンが公開されます。

#### 出力値

```
im_iadPublishDocument <object>
└─ shareInformationId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iadPublishDocument	object	なし	
shareInformationId	string	なし	公開文書のIDです。

#### 文書公開（ゲスト）

文書公開（ゲスト）をするタスクです。

#### 入力値

```
im_iadPublishGuestDocument <object>
├ cabinetId <integer> *
├ documentId <string> *
├ emailAddress <string[]>
├ expireDate <date> *
├ publishName <string>
├ startDate <date>
└ versionId <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iadPublishGuestDocument	任意	object	なし	
cabinetId	必須	integer	なし	キャビネットのIDを指定します。
documentId	必須	string	なし	公開する文書のIDを指定します。 例 : kn:document-XX
emailAddress	任意	string[]	配列	公開対象のメールアドレスを指定します。
expireDate	必須	date	なし	公開する文書の公開期限を指定します。
publishName	任意	string	なし	公開する文書の公開名を指定します。
startDate	任意	date	なし	公開日時を指定します。
versionId	任意	string	なし	公開する文書のバージョンIDを指定します。



### コラム

versionIdを指定しない場合、最新のバージョンが公開されます。

## 出力値

```
im_iadPublishGuestDocument <object>
└ shareInformationId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iadPublishGuestDocument	object	なし	
shareInformationId	string	なし	文書公開（ゲスト）のIDです。

## 文書コピー

文書コピーをするタスクです。

## 入力値

```
im_iadCopyDocument <object>
├ cabinetId <integer> *
├ documentId <string> *
├ newObjectName <string>
└ newParentObjectId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iadCopyDocument	任意	object	なし	
cabinetId	必須	integer	なし	キャビネットのIDを指定します。
documentId	必須	string	なし	コピーする文書のIDを指定します。 例 : kn:document-XX
newObjectName	任意	string	なし	コピーして名前を変更したい場合、指定します。
newParentObjectId	必須	string	なし	文書コピー先のドロワまたはフォルダのIDを指定します。 例 : kn:publicDrawer-XX、 kn:folder-XX

## 出力値

```
im_iadCopyDocument <object>
└ documentId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iadCreateDocument	object	なし	
documentId	string	なし	コピーした文書のIDです。

## 文書移動

文書移動をするタスクです。

## 入力値

```
im_iadMoveDocument <object>
├ cabinetId <integer> *
├ documentId <string> *
├ newObjectName <string>
└ newParentObjectId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iadMoveDocument	任意	object	なし	

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
cabinetId	必須	integer	なし	キャビネットのIDを指定します。
documentId	必須	string	なし	ドキュメントのIDを指定します。
newObjectName	任意	string	なし	移動して名前を変更したい場合、指定します。
newParentObjectId	必須	string	なし	文書移動先の親ドロワまたはフォルダのIDを指定します。 例 : kn:publicDrawer-XX、kn:folder-XX

## 出力値

```
im_iadMoveDocument <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iadMoveDocument	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

## フォルダ作成

フォルダ作成をするタスクです。

## 入力値

```
im_iadCreateFolder <object>
├ cabinetId <integer> *
├ classId <string> *
├ departmentSetInfo <object[]>
│ ├── companyCd <string>
│ ├── departmentCd <string>
│ ├── departmentSetCd <string>
│ └ permission <string>
├ folderName <string> *
├ parentObjectId <string> *
└ userInfo <object[]>
  ├── permission <string>
  └ userCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iadCreateDocument	任意	object	なし	
cabinetId	必須	integer	なし	キャビネットのIDを指定します。
classId	必須	string	なし	クラスのIDを指定します。 例 : kn:folder

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
departmentSetInfo	任意	object[]	配列	組織セット情報を指定します。 この要素を指定する場合、配下にある要素は必須です。
companyCd	任意	string	なし	会社コードを指定します。
departmentCd	任意	string	なし	組織コードを指定します。
departmentSetCd	任意	string	なし	組織セットコードを指定します。
permission	任意	string	なし	アクセス権を指定します。 読み取り専用を指定する場合、 read を指定します。 書き込み専用を指定する場合、 write を指定します。 読み取りと書き込みを指定する場合、 all を指定します。
folderName	必須	string	なし	作成するフォルダの名前を指定します。
parentObjectId	必須	string	なし	フォルダ作成先のドロワまたはフォルダのIDを指定します。 例 : kn:publicDrawer-XX、 kn:folder-XX
userInfo	任意	object[]	配列	ユーザ情報を指定します。 この要素を指定する場合、配下にある要素は必須です。
permission	任意	string	なし	アクセス権を指定します。 読み取り専用を指定する場合、 read を指定します。 書き込み専用を指定する場合、 write を指定します。 読み取りと書き込みを指定する場合、 all を指定します。
userCd	任意	string	なし	ユーザコードを指定します。

## 出力値

```
im_iadCreateFolder <object>
└─ folderId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iadCreateFolder	object	なし	
folderId	string	なし	作成したフォルダのIDです。

## アクセス権変更

アクセス権変更をするタスクです。

## 入力値

```
im_iadChangeAccessRight <object>
├ cabinetId <integer> *
├ departmentSetInfo <object[]>
│   ├── companyCd <string>
│   ├── departmentCd <string>
│   ├── departmentSetCd <string>
│   └ permission <string>
├ objectId <string> *
└ userInfo <object[]>
    ├── permission <string>
    └ userCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iadChangeAccessRight	任意	object	なし	
cabinetId	必須	integer	なし	キャビネットのIDを指定します。
departmentSetInfo	任意	object[]	配列	組織セット情報を指定します。 この要素を指定する場合、配下にある要素は必須です。
companyCd	任意	string	なし	会社コードを指定します。
departmentCd	任意	string	なし	組織コードを指定します。
departmentSetCd	任意	string	なし	組織セットコードを指定します。
permission	任意	string	なし	アクセス権を指定します。 読み取り専用を指定する場合、 read を指定します。 書き込み専用を指定する場合、 write を指定します。 読み取りと書き込みを指定する場合、 all を指定します。
objectId	必須	string	なし	アクセス権を変更するフォルダまたは文書のIDを指定します。 例 : kn:folder-XX、kn:document-XX
userInfo	任意	object[]	配列	ユーザ情報を指定します。 この要素を指定する場合、配下にある要素は必須です。
permission	任意	string	なし	アクセス権を指定します。 読み取り専用を指定する場合、 read を指定します。 書き込み専用を指定する場合、 write を指定します。 読み取りと書き込みを指定する場合、 all を指定します。

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
userCd	任意	string	なし	ユーザコードを指定します。



### コラム

アクセス権変更タスクでは、フォルダと文書のアクセス権を操作することができます。

## 出力値

```
im_iadChangeAccessRight <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iadChangeAccessRight	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

## 属性変更

属性変更をするタスクです。

## 入力値

```
im_iadChangeAttribute <object>
├ cabinetId <integer> *
├ newDescription <string>
├ newObjectName <string>
└ objectId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iadChangeAttribute	任意	object	なし	
cabinetId	必須	integer	なし	キャビネットのIDを指定します。
newDescription	任意	string	なし	属性変更するフォルダまたは文書に新しい属性の説明を指定します。
newObjectName	任意	string	なし	属性変更するフォルダまたは文書に新しい名前を指定します。
objectId	必須	string	なし	属性変更をするフォルダまたは文書のIDを指定します。 例 : kn:folder-XX、kn:document-XX



### コラム

属性変更タスクでは、フォルダと文書の属性を変更することができます。

```
im_iadChangeAttribute <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iadChangeAttribute	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

## 個人タグ作成

個人タグ作成をするタスクです。

### 入力値

```
im_iadCreatePrivateTag <object>
├ cabinetId <integer> *
├ tagColor <string> *
├ tagDescription <string>
└ tagName <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iadCreatePrivateTag	任意	object	なし	
cabinetId	必須	integer	なし	キャビネットのIDを指定します。
tagColor	必須	string	なし	タグの色を指定します。 例 : red
tagDescription	任意	string	なし	タグの説明を指定します。
tagName	必須	string	なし	作成するタグの名前を指定します。

### 出力値

```
im_iadCreatePrivateTag <object>
└ tagId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iadCreatePrivateTag	object	なし	
tagId	string	なし	作成した個人タグのIDです。

## 共有タグ作成

共有タグ作成をするタスクです。



```
im_iadCreateTag <object>
├ cabinetId <integer> *
├ tagColor <string> *
├ tagDescription <string>
└ tagName <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iadCreatePrivateTag	任意	object	なし	
cabinetId	必須	integer	なし	キャビネットのIDを指定します。
tagColor	必須	string	なし	作成するタグの色を指定します。 例：red
tagDescription	任意	string	なし	タグの説明を指定します。
tagName	必須	string	なし	作成するタグの名前を指定します。

## 出力値

```
im_iadCreateTag <object>
└ tagId <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iadCreatePrivateTag	object	なし	
tagId	string	なし	作成したタグのIDです。

## タグ付与

タグ付与をするタスクです。

## 入力値

```
im_iadAttachTag <object>
├ cabinetId <integer> *
├ objectId <string> *
└ tagId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iadAttachTag	任意	object	なし	
cabinetId	必須	integer	なし	キャビネットのIDを指定します。

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
objectId	必須	string	なし	タグを付与するフォルダまたは文書のIDを指定します。 例 : kn:folder-XX、kn:document-XX
tagId	必須	string	なし	付与するタグのIDを指定します。 例 : kn:tag-XX

## 出力値

```
im_iadAttachTag <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iadAttachTag	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

## 属性取得

属性取得をするタスクです。

## 入力値

```
im_iadGetAttribute <object>
├ cabinetId <integer> *
└ objectId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iadGetAttribute	任意	object	なし	
cabinetId	必須	integer	なし	キャビネットのIDを指定します。
objectId	必須	string	なし	属性取得をするドロワ、フォルダ、文書のIDを指定します。 例 : kn:publicDrawer-XX、kn:folder-XX、kn:document-XX



### コラム

属性取得タスクでは、ドロワ、フォルダ、文書の属性を取得することができます。

## 出力値

```

im_iadGetAttribute <object>
├ attribute <object>
│   ├── description <string>
│   └ objectName <string>

```

項目名	型	配列/リスト	説明
attribute	object	なし	
description	string	なし	取得される属性の説明です。
objectName	string	なし	取得される属性の名前です。

## ドロワ/フォルダの子要素取得

ドロワ/フォルダの子要素取得をするタスクです。

### 入力値

```

im_iadGetChildObjects <object>
├ cabinetId <integer> *
└ parentObjectId <string> *

```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iadGetChildObjects	任意	object	なし	
cabinetId	必須	integer	なし	キャビネットのIDを指定します。
parentObjectId	必須	string	なし	取得する子要素の親ドロワまたは親フォルダのIDを指定します。 例 : kn:publicDrawer-XX、kn:folder-XX

### 出力値

```

im_iadGetChildObjects<object>
├ childObjects <object[]>
│   ├── objectId <string>
│   └ objectName <string>

```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iadGetChildObjects	object	なし	
childObjects	object[]	配列	
objectId	string	なし	取得されるドロワまたはフォルダの子要素のIDです。

項目名	型	配列/リスト	説明
objectName	string	なし	取得されるドロワまたはフォルダの子要素の名前です。

## ごみ箱へ移動

ごみ箱へ移動をするタスクです。

### 入力値

```
im_iadMoveToTrash <object>
├ cabinetId <integer> *
└ objectId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iadMoveToTrash	任意	object	なし	
cabinetId	必須	integer	なし	キャビネットのIDを指定します。
objectId	必須	string	なし	ごみ箱へ移動させるフォルダまたは文書のIDを指定します。 例 : kn:folder-XX、kn:document-XX

### 出力値

```
im_iadMoveToTrash <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iadMoveToTrash	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

## ごみ箱から削除

ごみ箱から削除をするタスクです。

### 入力値

```
im_iadDeleteFromTrash <object>
├ cabinetId <integer> *
└ objectId <string> *
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_iadDeleteFromTrash	任意	object	なし	

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
cabinetId	必須	integer	なし	キャビネットのIDを指定します。
objectId	必須	string	なし	ごみ箱から削除をするフォルダまたは文書のIDを指定します。 例 : kn:folder-XX、kn:document-XX

## 出力値

```
im_iadDeleteFromTrash <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_iadDeleteFromTrash	any	なし	出力値として利用可能な値はありません。

## ユーザ定義タスク

### 項目

- [Accel Documentユーザ定義属性変更](#)
  - [ユーザ定義画面](#)
    - [入力値](#)
    - [返却値](#)
    - [キャビネット](#)
    - [クラス定義](#)
  - [動作仕様](#)

## Accel Documentユーザ定義属性変更

この IM-LogicDesigner ユーザ定義タスクを利用することで、intra-mart Accel Documents において、ユーザが定義した属性を変更できます。

### ユーザ定義画面

intra-mart Accel Documents 管理者のみ、ユーザ定義を作成できます。

キャビネット と クラス定義 を指定し、ユーザ定義属性の入力値のインタフェースを作成します。

### 入力値

- **cabinetId**
  - キャビネットIDです。
  - 必須です。
  - ユーザ定義画面でキャビネットIDを指定しますが、入力値のdeclaredAttributesのオブジェクト構造を読み込むために利用されます。  
実行時は画面で指定した値は利用されず、入力値で指定した値が利用されます。

- **objectId**
  - オブジェクトIDです。
  - 必須です。
  - 例 : kn:document, kn:folder
- **declaredAttributes**
  - 選択したクラス定義によって動的に変更されます。
  - declaredAttributes配下には、ユーザ定義属性のIDをキー名としたプロパティが追加されます。ユーザ定義属性に設定したい値を、配下のプロパティに指定してください。
  - データ型については、以下の対応表の通りです。

---

**Accel Document**におけるユーザ定義属性の要素型 **LogicDesigner**におけるデータ型

---

文字列	string
ブーリアン	boolean
日時	date
整数	integer
長整数	long
固定小数点	bigdecimal
UG識別子	object (※)

---

※ 要素型がUG識別子の属性の場合、object配下に以下のオブジェクトが追加されます。利用しないオブジェクトは削除して、ユーザ定義を保存し利用することを推奨します。

- departmentUgId (会社/組織)
- postUgId (役職)
- publicGroupUgId (パブリックグループ)
- publicGroupRoleUgId (役割)
- roleUgId (ロール)
- userUgId (ユーザ)

#### 返却値

ありません。

#### キャビネット

キャビネットを設定します。

#### クラス定義

クラス定義を設定します。  
使用可能属性が設定されているクラス定義のみ設定できます。

#### 動作仕様

- declaredAttributes が指定されていない場合、または情報が不足している場合、値は更新されません。
- 各要素型に対応した値が指定されていない場合、実行した際に例外が発生します。

 コラム

要素型がUG識別子の属性に対して複数の値が指定された場合、以下の順に優先され、値が変更されます。

- departmentUgId (会社/組織)
- postUgId (役職)
- publicGroupUgId (パブリックグループ)
- publicGroupRoleUgId (役割)
- roleUgId (ロール)
- userUgId (ユーザ)